

東日本大震災後の本格復旧については、通信サービスの信頼性の確保を目的として取り組み、ほぼ完了した。

緊急・応急復旧フェーズ

【通信サービスの最低限の確保】
(H23.3.11～6月末)

緊急点検 ・被災状況の確認
(647ビル)

緊急復旧 ・落下危険性のある外壁材の撤去
・外壁材落下防止のネット張り
・周辺の瓦礫撤去
・ビル周辺の立入禁止処置

応急復旧 ・内部ガラ撤去
・開口部塞ぎ
・外壁サイディング張り
・移動電源車による電源供給
・燃料調達とタンクローリーによる燃料供給

今回の応募範囲

本格復旧フェーズ

【通信サービスの信頼性を被災前のレベルに回復】
(H23.7.1～)

詳細調査 ・津波被災等により大規模な復旧が必要なビル(65ビル)

本格復旧方針

津波全水没ビル(19ビル)

・高台へ移転新築

津波一部水没ビル(7ビル)

・津波対応壁・扉補強、1階ピロティ化
・受電設備等の上階移設

地震被災ビル(16ビル)

・耐震補強(耐震壁増打ち等)

長時間停電ビル(23ビル)

・非常用発電設備の長時間化

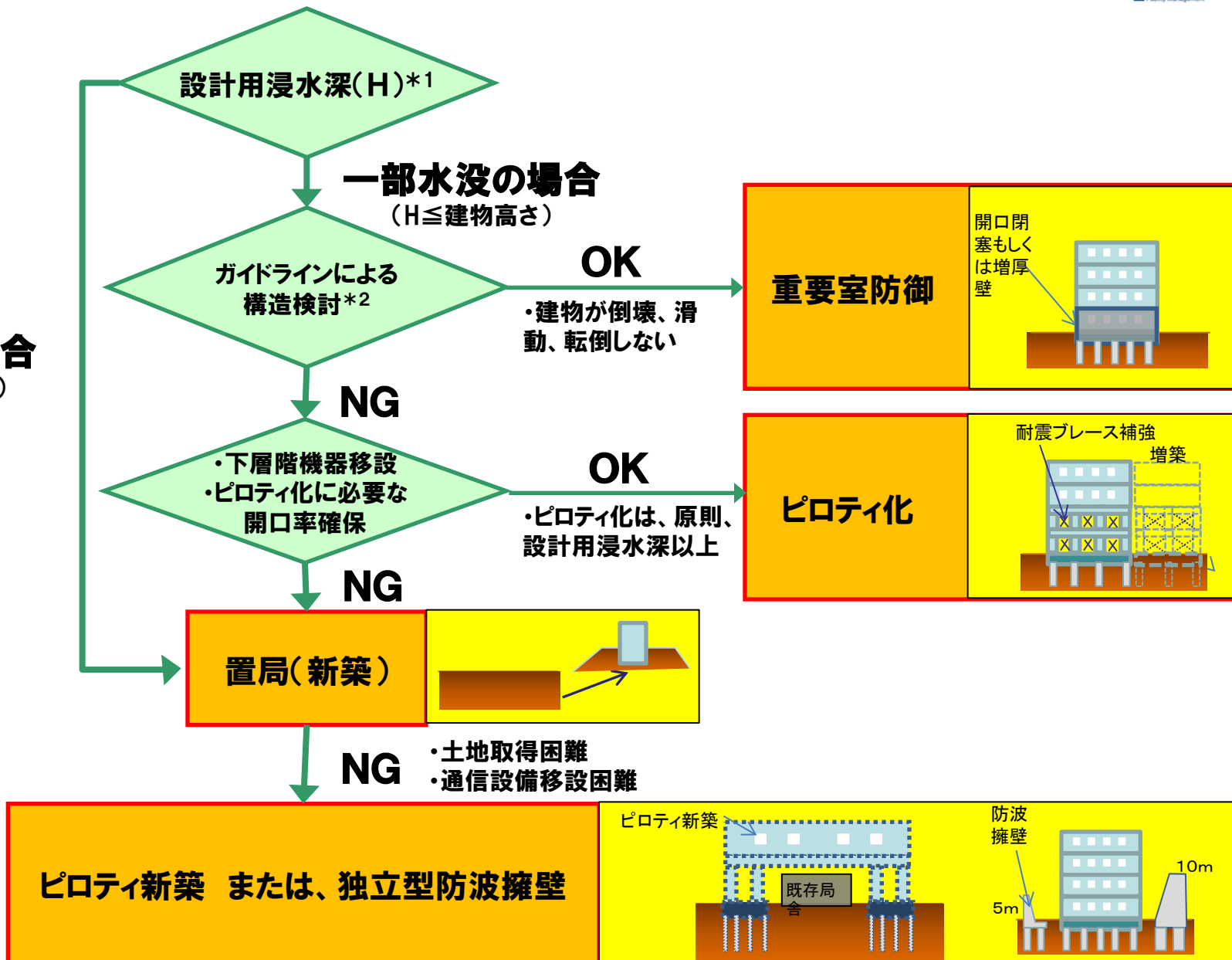
特徴的な部分

対策実施

63ビル(97%)完了(平成25年9月時点)

【残り2ビルの状況】
・1ビルは平成25年11月新築完成、1ビルは復興計画に合わせて新築(平成27年度完成)

全水没の場合
($H >$ 建物高さ)



*1: 設計用浸水深さ(H) = 今回の想定被災津波高さ

*2: 「津波避難ビルに係るガイドライン(内閣府、平成17年6月)」

対策	被災直後	復旧完了後
<p>置局新築</p>		
<p>重要室防御</p>	 <p>2011/11/10</p>	<p>開口部を閉鎖し、防御壁新設</p>  <p>2012/07/20</p>
<p>一部水没ビル復旧 (重要室は上階に設置)</p>		
<p>エンジン屋上設置</p>	 <p>2011/10/20</p>	<p>屋上空調屋外機を移設し、 架台を構築、非常用エンジンを新設</p> 